

授業科目の区分等：専門教育科目 経営学科 発展科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	選択
担当教員			
工藤 幸一			
B (経営学科)	S (専門科目)	BA (経営)	303 (上級科目)

授業のねらい (概要)	ベンチャー企業に関する基礎的・専門的な知識を修得させ、ベンチャー企業の創業や経営から新技術や新事業を開発し事業として発足させるために必要な方法論と応用力を育成することを目的とする。ベンチャー企業概念と歴史や各時代の特徴について概説したうえで、ベンチャー企業の経営と成長プロセスや事業創造のプロセスについて学修する。また、日本のベンチャー企業が直面する問題点について考察するとともに、ベンチャー企業が成長するために必要となる条件について考える。		
授業計画	第1回	講義内容、履修上の注意事項に関するガイダンス 産業構造転換と新創業の必要性 予習 (時間) : シラバスを読み講義内容を理解しておく。(120) 復習 (時間) : 自分の時間割編成を考え履修するかを決める。(120)	
	第2回	起業家精神とイノベーション 予習 (時間) : 教科書 I-5起業家のバックランド I-6成功する起業家の特徴 を読む。(120) 復習 (時間) : 講義ノートの整理をする。(120)	
	第3回	ベンチャー企業 ベンチャー・ビジネス 予習 (時間) : 教科書 I-1ベンチャー企業と起業家 I-3多様化するベンチャー企業 I-4ベンチャー企業の分類 を読む。(120) 復習 (時間) : 配布資料、講義ノートの整理をする。 視聴VTRの内容をノートに整理する。(120)	
	第4回	中小企業の第2創業 予習 (時間) : 教科書 Vベンチャー企業による自立した地域づくりへの挑戦を読む(120) 復習 (時間) : 講義ノートの整理をする。(120)	
	第5回	企業内起業家 予習 (時間) : 教科書 II-5企業成長と社内ベンチャーを読む(120) 復習 (時間) : 講義ノートの整理をする。 視聴VTRの内容をノートに整理する。(120)	
	第6回	社会起業家 予習 (時間) : テキストには該当する内容がないので、講義5回の最後に指示する。(120) 復習 (時間) : 配布資料、講義ノートの整理をする。 視聴VTRの内容をノートに整理する。(120)	
	第7回	日本のベンチャー企業の歴史 予習 (時間) : 教科書 I-2ベンチャーブームの歴史 を読む。(120) 復習 (時間) : 講義ノートの整理をする。(120)	
	第8回	ベンチャー企業のマネジメント 予習 (時間) : 教科書 II-1ベンチャー企業の自己脱皮 II-2ベンチャー成功の九原則 II-3ライフサイクルマネジメント を読む。(120) 復習 (時間) : 配布資料、講義ノートの整理をする。(120)	
	第9回	成功しているベンチャー・ビジネス 予習 (時間) : 教科書 I-5起業家のバックランド I-6成功する起業家の特徴 を読む。(120) 復習 (時間) : 講義ノートの整理をする。(120)	
	第10回	ケース (1) 予習 (時間) : 教科書 II-4ベンチャー企業のリスクマネジメントを読む。(120) 復習 (時間) : 配布資料、講義ノートの整理をする。(120)	
	第11回	ケース (2) 予習 (時間) : 教科書 III-1ベンチャー企業の資金調達とは III-2ベンチャー企業の株式上場 を読む。(120) 復習 (時間) : 配布資料、講義ノートの整理をする。 視聴したVTRの内容のノートの整理をする。(120)	
	第12回	失敗したベンチャー・ビジネス 予習 (時間) : 教科書	

	<p>第13回 III-2メンターとエンジェル III-3クラウドファンディングを読む。(120) 復習(時間):講義ノートの整理をする。(120) ケース(1) 予習(時間):教科書</p> <p>第14回 IV-1ベンチャーキャピタルとは を読む。(120) 復習(時間):講義ノートの整理をする。(120) ケース(2) 予習(時間):教科書</p> <p>第15回 IV-3日本のベンチャーキャピタルと課題 IV-4ベンチャー支援のインフラの整備 を読む。(120) 復習(時間):配布資料、講義ノートの整理する。 視聴したVTRの内容のノートの整理をする。(120) まとめ ベンチャー・ビジネスの今後の展望 予習(時間):講義ノート、配布資料の整理をする。(120) 復習(時間):視聴VTRの内容のノート整理。試験のために配布資料と講義ノートの整理をする。 (120)</p>
授業を通して身に付けることができる能力(DP)	<p>DP(経営学科)の2項目を意識した科目となっている。</p> <p>1. 経営学の専門知識を持ち、組織全体を見渡す能力 2. 経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報)を多面的に理解し、活用できる能力</p> <p>【身に付くスキル】 論理的思考力・情報活用能力</p>
到達目標	①ベンチャー企業②企業内起業家③社会起業家とは何かを理解する。そして起業家を目指すには起業家精神が重要性であることを理解する。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	必要に応じて講義終了前に講義内容のミニレポートを書き提出してもらい理解度を確認する。提出物に関しては授業の中で適宜取り上げる。
履修上の注意	講義の進め方、単位認定試験に関してはガイダンスにおいて詳しく説明するが、半期の講義でベンチャー企業の特徴を理解し実践論=経営者論=マネジメント論を理解することを目標とするため毎回の講義への出席が絶対条件となる。主要項目を板書しケース・スタディーを中心とした解説をおこなうので、これを毎回講義に出席し講義ノートを作成し試験に対応してほしい。選択科目であるから意欲ある学生が受講するものとして講義を進める。私語は厳禁であり退室させることもあるので注意すること。講義中の携帯電話の使用は厳禁である。電源を切って入室すること。遅刻入室は20分以内とする。
成績評価の方法・基準	①講義内容のミニレポート(20%)②期末試験は、試験時間90分の論述形式を含んだ筆記試験(80%)を行う予定であるが、受講者の人数によってはレポート提出(80%)による成績評価も考えている。
教科書	「日経文庫 経営学入門シリーズ ベンチャー企業(第4版)」 ISBN番号:978-4-532-11303-2 著者名:松田修一 出版社:日本経済新聞社 発行年:2014年 価格:1000円
参考書・教材	【参考書】 『ベンチャー経営論』 著者名:柳孝一 出版社:日本経済新聞社 発行年:2004年 価格:3360円 『ベンチャービジネス論』 著者名:太田一樹他 出版社:実教出版 発行年:2007年 価格:2300円
備考	講義科目
教員との連絡方法	大学ドメインのメール、Mellyの併用。